

見習いたい、人と環境を大切にする仕事。

ロハスピープルのための快適生活マガジン

S O O K O O

6

June 2010

No.132

800YEN

ソトコト

ひらめき! ユーモア! 感動!

60の誠実な会社の話

the inspiring
stories of
ethical and sincere
companies

特別付録: ソトコトCD「オオヤユスケ。東京からベルリンへ」

ゴミ、捨てんなよ!



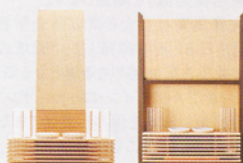


神頼みも
スマートに。

今の暮らしに合わせ、
マンションにもオフィスにも。

三祀御社
Sanmatsurioryashiro

上は3つの御札を納める三祀御社(高さ290×幅95×奥行141mm)と神具台(49×189×66mm)の組み合わせ。他に2枚の御札用(右)、二祀御社(302×210×93.5mm)と1枚の御札用(左)、一祀御社(290×95×141mm)が揃う。●三祀御社19万円、神具台1万円、二祀御社8万9000円、一祀御社4万9000円(神宮司棚舎 <http://shop.jinguji-kamidanasha.net/>)



プロダクトデザイナーの酒井俊彦さんが神棚を作ったと聞いた。見てみると、簡素このうえない。神棚といえば神社をミニチュアにしたようなものではないの? と思っていたが……。「神道についてずいぶん勉強し、神棚はあくまでも神札を祀る場所で、神様が住まわれることはいと分かりました。そこで、神社そのままの宮形

は取り入れず、神社建築の様式の一部をクローズアップして再構築する手法をとりました」と酒井さんは説明する。形は現代風だが、御札を入れ、米、塩、水の神饌と榊を供える、その基本はきちりと守っている。

モチーフには日本最古の神社建築といわれる宇治上神社の面格子を選んだ。神代桂という半化石

化した硬い木材を、2ミリ幅に加工し、3、4ミリのピッチで組む。この難題に応えられたのは組子細工の第一人者で黄綬褒章受章者でもある横田栄一さんだけだったという。いやはやその緻密なこと、美しいこと。美しいものを見ればあがめたくなるのが人間の本能。その意味では形こそ変われ、信心の本質的なところを突いている。